
呪われた本

鹿波

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

呪われた本

【Nコード】

N3876BA

【作者名】

鹿波

【あらすじ】

沢上姫乃には誰も知らない秘密があった。僕がその秘密を彼女からそれを聞かされたあの日から、僕の生活は現実とは程遠い物へとなってしまったのである。彼女の秘密と怪奇現象が交わるその時、世界は静かに歪み始めた。

第一章其ノ零 序章

沢上姫乃さわがみ ひめのは名前に反し、性格はドが一つだけでは物足りないほどのサディスト、いわばSだった。

目の前にいる人であれば老若男女無関係でけなし、先生までをも罵倒するほどのSである彼女は身形が文句なしに素晴らしく、学校の生徒だけではなく校長までもが会員であるファンクラブがあるらしい。らしいというのは、僕はそのファンクラブの会員ではないため実際に活動をしている場面を見たことがなく、実在するのかどうかも分からない、いや別に知る必要性もなかったためファンクラブについてはまったく知らないのだ。

とはいえ、ファンクラブが存在しているか否かはほって置くとしてこれだけならそう珍しいことではない。寧ろアニメなんかでもよくあることである。それに全国どこかの学校を全部調らべていけばアイドル的存在の奴は見付かるはずだ。

沢上姫乃がアイドル的存在になった理由は会員ではない僕から見ても分かる。

女子には珍しい肩まで伸ばされたサラサラな黒髪。彼女の性格を表すかのような吊り目がちな目と二重まぶた。その目には澄んだ瞳。

一見美少年のようにも見えなくもない彼女の容姿はこの上なく輝かしい。

美人は性格が悪いとはいうが、彼女こそが良い実例である。

性格が悪いくせして勉強はかなりできるらしく常に学年トップなのだ。

姫乃は「あんな紙（テスト用紙）なんてこの私に解かせようとするほうがどうかしているわ。私が幼稚園に通ってた時でもあのくらいの問題、いいえ問題と言う方がおかしいわ、あのくらいの謎々は解けたわ」とバカな人のことなど一切考えずに禁句弾丸をぶっ放していた。

姫乃が言う『あのくらの謎々』も解くことができなかつた人にとつてはム力つく台詞ベスト十に入つても良い言葉であつたが、僕には無関係な言葉であり、もつともバカである生徒は姫乃の言葉を録音して愛でているのだとか。

さらにどこまで完璧人間になりたいのか姫乃は、剣道やピアノといった塾に通っている。いや、通つていた。

何をやつても完璧だつた姫乃はある日を境にしてすべての塾を止め、今では以前のように人をけなすこともなく、寧ろ穏やかな性格になり、ファンクラブの人からは「まるで別人のようになった」や「姫乃様の顔をした化け猫」とまでも言われている。

でもたしかに『別人』や『化け猫』という比喻はまさしく現在の沢上姫乃に適切な言葉だと僕は思う。

沢上姫乃は人間離れはしていたもののれっきとした人間であり、誰にだつて弱点があるように、また彼女にも人間らしい弱点があつた。彼女の弱点はファンクラブの人には周知の事実であり、ファンクラブには入っていないが僕も知っている。

沢上姫乃は魚が大嫌いなのである。

……何だよそりゃ。子供みたいではないか。僕は彼女の弱点を知つた時にそう思つた。

たしかに魚が大嫌いな奴はこの世界を探せば少なからずいる。でも彼女の場合は別だ。

普段は人をけなし、人を嘲笑い、人をご褒美として踏み付けているような彼女が魚を見た途端、自分は弱い子です、と猫をかぶるのだからファンクラブに入っていない僕にとってはストレスの対象でしかなかつたのだ。

そんな彼女が最近では気持ち悪いくらいに落ち着いており、さらには大嫌いとしていた魚を食べるようになった。

これだけを見ると彼女は良くなつたとしか見えないが、実は良くなるどころかますます悪くなつたのである。

僕以外、ファンクラブの人も彼女を受け持つ先生方までもが知らな

彼女の秘密を知った、いや知らされたのは、朝から雨が降っているあの日の放課後のことであつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3876ba/>

呪われた本

2012年1月10日02時50分発行